

老朽化した排水機場を修繕し、地域の浸水被害を軽減する (石川県小松市)

国土交通省 北陸地方整備局
事業者：金沢河川国道事務所



令和4年8月大雨時の前川排水機場

対策名：79-1 河川管理施設の老朽化対策

主たる施策グループ： 1-4) 突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生（ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む）



事業名：梯川河川維持修繕事業

- ポイント**
- 老朽化した排水機場の予防保全として分解整備を実施
 - 観測史上1位の水位を記録した令和4年8月出水では、延べ65時間の排水を行い、地域の浸水被害を軽減

地域の概要・課題

梯川および前川流域は、山間部と海岸砂丘に囲まれた低平地が広がっており、ひとたび氾濫が発生すると浸水が長期化しやすい地形となっています。

梯川逆水門と前川排水機場は、両施設が協力し合うことで、前川および木場潟において、平常時は塩水遡上防止やかんがい取水、洪水時は逆流防止やポンプ排水による水位上昇軽減の役割を果たしています。

事業の概要

頻発する出水により稼働時間が多く、年点検において確認された原動機内部の損傷について分解整備による修繕を実施し、排水機場の機能を確保しました。

原動機内部の修繕内容

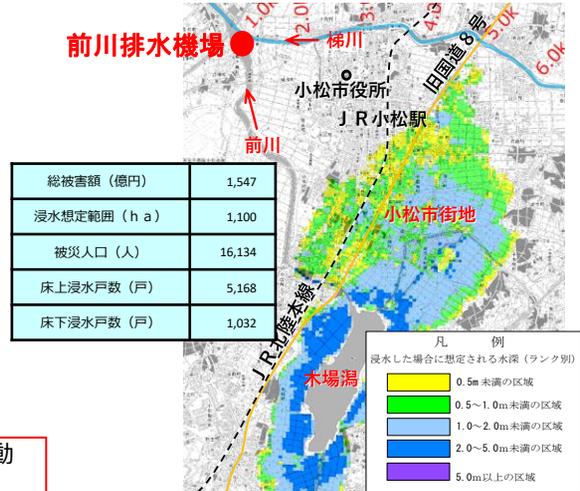


年点検の結果、原動機内部のダクトや断熱材の損傷が判明したため、原動機を分解し、損傷部分の修繕を実施した。

効果

令和4年8月には梯川で、観測史上1位となる水位を観測する出水となり、前川排水機場は延べ65時間、約1,100万㎡の排水を行い、物流を支えるJR北陸本線や旧国道8号、人口・資産が集中する小松市街地の浸水被害を軽減しました。

＜令和4年8月出水で前川排水機場が稼働しなかった場合の被害想定＞



(1) 1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
最小化する被害を防止・

(2) 2 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 への転換に向けた老朽化対策
予防保全型インフラメンテナンス

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
デジタル強靱化に関する施策の

(2) 伝達の高精度化
災害関連情報の予測、収集・集積・